

第59号

翠 幻 地

文学三昧号



発刊によせて

『翠幻地』（すいげんち）は、尾道市立大学日本文学会が発行する会報誌です。誌名は大学の隣にある「久山田水源地」にちなんで名付けられました。

毎年一二月の上旬に行われる「おのみち文学三昧」は、前半に学会大会、後半に講演会を行う二部構成です。新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、昨年度と一昨年度は全面オンラインでの開催でしたが、本年度の第一四回「おのみち文学三昧」は、対面とオンラインでのハイフレックス開催となりました。学会大会では学部生三名と教員一名の研究発表、講演会では小説家・脚本家の大倉崇裕さんをゲストにお迎えします。本誌では「おのみち文学三昧」に関わる特集と、日本文学科の学生をより知っていただけるような特集を組んでおります。

どうぞ最後までお楽しみください。

目次



光原百合先生 追悼文

3

ゲスト大倉崇裕さん作品集

4

今年の文学三昧で講演をしていたくのは、小説家・脚本家の大倉崇裕さん

教えて！現役おのだい生の暮らし

8

尾道市立大学の学生の暮らしぶりを調査

研究発表者インタビュー

12

学会大会で研究発表を行う学部生の皆さんと先生へインタビュー

編集後記

17

奥付



光原百合先生 追悼文

日本文学科教授の光原百合先生が、本年八月二十四日にご逝去されました。先生は作家としてのご経験や技術を、文芸創作の授業でたくさん教えていただきました。教養教育の分野でもご活躍され、いつでも温かく指導してくださいました。明るくて優しい光原先生を、忘れることはないでしょう。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



ゲスト大倉崇裕さん作品集

多数の小説、脚本を世に出しておられるゲストの大倉崇裕さん。皆さんがご存知であろう、あのアニメ作品にも関わっていらっしゃいます。ここでは著作の一部をご紹介します。

脚本 focus on 名探偵コナン

テレビアニメはもちろん、劇場版でも「から紅の恋歌(ラブレター)」「紺青の拳(フィスト)」「ハロウィンの花嫁」などの脚本を担当されています。

大倉さんは以前ある取材でコナンにおける自身の脚本を「殺人ラブコメ」と称していましたが、まさにその通りで、緊迫感のあるミステリーの中で甘酸っぱい恋愛物語が同時進行するという新鮮味のあるストーリーになっています。

Q 今までの作品との違いはありますか？
A 年々アクションが激しくなっている印象があったのですがこの作品は例年と比べると少しおとなしいように感じました。ただ全然物足りなさはなく、むしろその渋さがいなと感じました！

Q ズバリこの作品の見所は？
A やはり過去とのつながりを重視したストーリーですね。警察学校組のそれぞれの性格や活躍が丁寧に描かれており、コナンファンとしてはたまらなかつたです……！また高木刑事と佐藤刑事のラブもあり、初見の方でも楽しめる内容だったかなと思います。全体的にストーリー、アクション、ラブのバランスがとても良く、コナン映画の中でも特に見応えのある作品になっていました！

日本文学科の

コナンファンに聞いてみた！
最新作「ハロウィンの花嫁」の
コナンがすばらしい！

大倉崇裕さんの略歴

- 一九九七年 「三人目の幽霊」で第四回 創元推理短編賞佳作を受賞。
- 一九九八年 「ツール&ストール」で第二〇回小説推理新人賞を受賞。
- 二〇〇六年 「福家警部補」シリーズがスタート。
- 二〇一〇年 「監視行いきもの係」シリーズがスタート。
- 二〇一六年〜テレビアニメ「名探偵コナン」の脚本に参加。
- 二〇二三年 テレビアニメ「ルパン三世 PART6」のシリーズ構成を手がけ脚本にも参加。
- 二〇二三年 脚本を担当した劇場作品「名探偵コナン ハロウィンの花嫁」が公開。

脚本家とは

物語のプロフェッショナル！
ストーリーの骨組みや進行、物語の設計を作る人。「シナリオライター」とも言われています。テレビや映画、舞台演劇、アニメ、ゲーム、漫画など、その活躍分野は様々。オリジナルのシナリオを創作したり、原作がある場合はそこからシナリオを書き起こしたりします！ 現地調査や資料収集、関係者への取材などをする事も……。また、脚本家に必要なのは文章力や構成力だけでなく、キャラクターや場面の設定も重要です。好奇心旺盛で洞察力のある人は向いているかも♪

【参考】www.tsogen.co.jp/np/author/147
https://febri.jp/topics/conan_movie1/
<https://vector-mag.com/feature/f-anime/7012/>
<https://manabi.benesse.ne.jp/shokugaku/job/list/088index.html>
<https://careergarden.jp/kyakuhonka/>

小説

大倉崇裕さんの代表作2選

「緋色の研究」を最後まで読めなかったほどのミステリー初心者編集委員が読んでおもしろかったポイントとむずかしかったポイントを紹介します。

三人目の幽霊

2001年 東京創元社

第四回創元推理短編賞で佳作を受賞した表題作を含む五編が収録されています。
落語専門誌「季刊落語」編集長、牧大路と新人編集者の間宮緑。二人のいくわすさまじくまな事件の真相が、落語の筋とともに紐解かれていく（落語ミステリー）。

おもしろかったポイント

登場人物と一緒に

落語について学べる

落語の内容だけでなく寄席ならではの豆知識も得られます。もちろんいくつかは事件に関連しています。

むずかしかったポイント

短いお話し

たくさんの登場人物

三人目の幽霊は六〇ページ余りのうちにメインの二人や嘶家たちに加え、落語の中にも人物が登場します。関係性を一度に把握するのは大変でした。

死神刑事

2018年 幻冬舎

二〇二一年に文庫化する際、『死神さん』に改題されました。動画配信サービスAmazonでドラマ化されている話題作です。警察内部で「死神」とあだ名をつけられている警部補、儀藤堅忍と突然相棒として指名された大邊誠巡查部長が、無罪判決の出た事件を再捜査していきます。

おもしろかったポイント

軽快なバディの掛け合い

脚本家としての仕事の影響でしょうか、ほとんど会話文で構成されています。個性的な二人の台詞がテンポよく進んでいくので楽しいです。

むずかしかったポイント

……ありません。

儀藤や大邊より先に推理をするような余裕はありませんが、とても分かりやすかったです。

教えて！

現役おのだい生の暮らし

おのだい生はどこに住み、何を食べ、どのように毎日を過ごしているのか。リアルな学生生活をのぞいてみましょう。

日文生に
聞いてみた!

住むならどっちが便利?!

山界、下界と称しているのは、久山田とそれ以外(尾道市外、実家、県外など)をわかりやすく対比させるために用いた名称であり、それぞれの地域を揶揄する意図はありません!

山界(久山田)

メリット

- ・授業直前に家を出ても間に合う。
- ・図書館などの施設を気軽に使える。
- ・空きコマにすぐ帰宅できる。
- ・サークルを掛け持ちしやすい。
- ・星空が綺麗。
- ・お化けや虫、獣の類に耐性がつく。

デメリット

- ・大学以外への交通が不便。
- ・コンビニすら近くにない!
買い物に一苦勞。

下界(久山田以外)

メリット

- ・アクセスがいい。駅も近く、買い物や遊びも気軽に行ける。
- ・実家住みの場合、家族に食事の用意や洗濯を頼みやすい。

デメリット

- ・大学まで時間がかかる。
→早めの起床と出発。
- ・バスや電車などの交通費がかかる。
- ・忘れ物があったり、空きコマがあっても、気軽に帰宅できない。

結論……

住めば都

学食ランキング

No.1



オムライス 470円

ふわとろの卵が最高!
あなたはトマトソース派? ホワイトソース派?

No.2



チキン南蛮 550円

カリカリの衣とタルタルの相性の良さは
リピート確定!

No.3



オヤマノ定食 550円

メニューが毎日変わるのがとても楽しみ!
味噌汁が美味しいのも人気のポイント。

きつい曜日ランキング

No.1 火曜日

とにかく授業数が多い!
教職関係の授業も続く
ので大変。



No.2 水曜日

水曜も授業が比較的多い。
基礎演習と専門演習は発表
があるので、
めちゃくちゃ緊張する。



No.3 月曜日

週の始まりというだけで
絶望。1限が入っていると
さらに絶望。



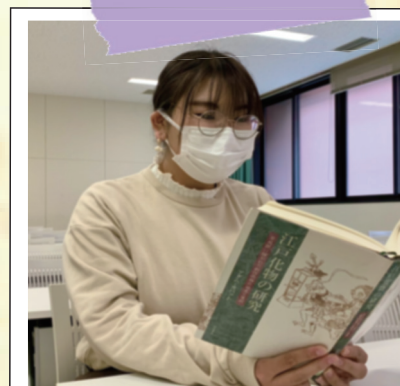
研究発表者インタビュー

一月に行われた三年生研究発表会にて、学会大会に登壇する三名の学部長が選出されました。また、大会では教員発表も行われます。発表者の皆さんに、普段の研究での取り組みや意気込みを伺いました。

学部生インタビュー

質問内容

- ①ゼミの活動内容は？
- ②普段どのような研究をしていますか？
- ③研究の参考になった書籍を教えてください！
- ④発表への意気込みをお願いします！



日本文学科3年 吉田ゼミ
かねこ あやか
金子 綾夏 さん

- ①ゼミでは、主に卒業論文に向けての進捗状況の報告を行っています。人数は少ないですが質疑応答の中で有益なアドバイスをもらうことが多いです。ゼミ仲間にも恵まれたなど感じます。
- ②私の研究は複数の作品を扱うので、それぞれの作品についての先行研究や、翻刻・解題をよく見えています。
- ③鈴木重三 木村八重子編『近世子どもの絵本集 江戸編』（岩波書店 一九八五年七月）・中野三敏 肥田皓三編『近世子どもの絵本集 上方編』（岩波書店 一九八五年七月）という資料を参考にすることが多いです。ぱらぱらとページをめくってみると、色々な作品が掲載されていて、じっくり見てしまうこともしばしば……。④ほかの分野で研究されている方を前に発表するので、少し緊張しています。皆さんに少しでも「ぶんぶく茶釜」の面白さが伝わってくれたらうれしいです。

- ①ゼミでは、自分で決めたテーマに沿ってそれぞれが研究を進めながら、週に一度集まって進捗状況や改善点を話し合っています。和やかな雰囲気なので意見が出しやすく、お喋り感覚で取り組んでいます。締切前はみんな真剣です。
- ②長崎県壱岐市の方言のうち、特に文法を研究しています。動詞を中心に調べていますが、今後は、方言評価や言語意識との関連があるかどうかを明らかにしたいと考えています。
- ③大野晋『日本語の文法を考える』（岩波新書 一九八七年七月）です。文法を中心に古典語と現代語のつながりを考えることができる一冊です。
- ④入学してから一度も対面での文学三昧を経験してないので、どんな行事になるのか楽しみです。分かりやすい発表になるように頑張ります。



日本文学科3年 灰谷ゼミ
ひだか わかな
日高 わかな さん



日本文学科・教授

ひらやま なおき
平山 直樹 先生

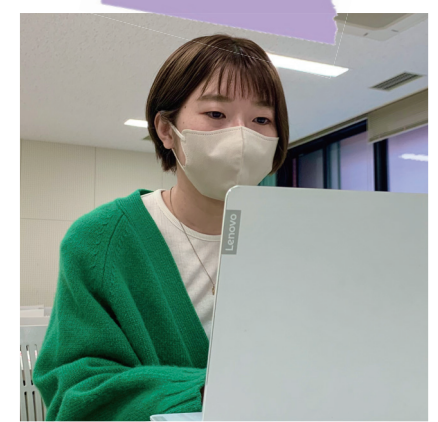
先生インタビュー

質問内容

- ① 普段どのような研究をしていますか？
- ② 今回の研究発表のテーマは？
- ③ 研究の参考になった書籍を教えてください！
- ④ 発表への意気込みをお願いします！

- ① 一五世紀に英語で書かれたの紙をはじめとする文書を、その言語特徴に注目して研究しています。
- ② 接続詞として使われるand、および接続詞や関係代名詞などとして使われるthatの短縮形と非短縮形について。
- ③ フランシス・ギース、ジョセフ・ギース著、三川基好 訳『中世の家族―パストン家書簡集で読む乱世イギリスの暮らし』（朝日出版社 二〇〇一年七月）を参考にしています。これは、私が研究している一五世紀の『パストン家書簡集』に収録された手紙に主に基づきながら、歴史的・社会的な背景も取り入れて、パストン家の家族や関係する人々の生活について説明している書籍です。
- ④ 最近テーマとしている研究の一部をご紹介いたします。なるべくわかりやすい発表にできるように頑張ります！

学部生のみなさん、平山先生
お忙しい中インタビューにご協力いただき
本当にありがとうございます！



日本文学科3年 原ゼミ

むらかみ ひかり
村上 日佳里 さん

- ① 各自の卒業論文・制作を持ち寄り、質問や意見交換を行いながらより精緻なものになるよう切磋琢磨しています。
- ② 夢野久作「押絵の奇蹟」の研究を行っています。作品の舞台である福岡と東京という都市に注目し、それぞれの土地特有のモチーフを分析しながら考察を進めています。
- ③ 西原和海『夢野久作の世界』（平河出版社 一九七五年十二月）、多田茂治『夢野久作と杉山一族』（弦書房 二〇一二年九月）など。
- ④ 文学三昧への登壇を一つの目標としていたので感慨深いです。貴重な機会を頂けたことに感謝し、精一杯頑張ります。

尾道市立大学日本文学会会報誌

翠幻地

第59号 文学三昧号

令和4年 12月10日 発行
尾道市立大学日本文学会 編

編集委員 運上佳歩 (芸術文化学部日本文学科4年) 大野恵理 (同4年)
平田沙帆 (同4年) 森茜 (同4年)
久保紫野 (同3年) 清水あゆみ (同3年)
西峯十和 (同2年) 原優花 (同2年)
儀保裕珠樹 (同1年) 口羽もえ (同1年)
高木陽菜 (同1年) 吉富綾乃 (同1年)

取材協力 尾道大学オヤマノカフェ 様
平山直樹 先生 (芸術文化学部日本文学科教授)
金子綾夏 さん (芸術文化学部日本文学科3年)
日高わかな さん (同3年)
村上日佳里 さん (同3年)

編集協力 藤川功和 先生 (芸術文化学部日本文学科教授)
宮谷聡美 先生 (同教授)

表紙デザイン 田中美帆 さん (芸術文化学部美術学科3年)

発行者 尾道市立大学日本文学会
〒722-8506
広島県尾道市久山田町1600番地2

印刷・製本 株式会社グラフィック

表紙・裏表紙デザイン



今年度の「おのみち文学三昧」の公開講演会では劇場版「名探偵コナン」の脚本などで知られる大倉崇裕さんをお招きし、小説と脚本の違いについてお話しいただきます。

それにちなんで、探偵をテーマに制作しました。「シャーロック・ホームズ」をデザインの参考にしています。彼の虫眼鏡の先には何やら足跡が……。このたびの講演会への入り口となるようなデザインを目指しました。

昨年度に引き続き、「おのみち文学三昧」の広報活動に関わることができて大変嬉しく思います。この『翠幻地』も沢山の方の手にとっていただけだと幸いです。

芸術文化学部美術学科三年 田中美帆

編集後記



『翠幻地』は学生中心に企画・編集・発行を行います。それは多くの方の支えがあってこそ完成させられるものです。日本文学科の先生方や学生の皆さん、普段からお世話になっている方々のご協力も得ながら、本年も無事『翠幻地』文学三昧号を発行することができました。編集委員一同心から感謝しております。本当にありがとうございます。

そして本年の「おのみち文学三昧」は、三年ぶりに対面での開催が可能となりました。安全面を考慮しながら、皆様が『翠幻地』片手に講演を楽しんでいただけましたら幸いです。

これからも委員同士力を合わせて、より良い情報発信ができる媒体作成に精進してまいります。今後とも編集委員を、『翠幻地』を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

芸術文化学部日本文学科三年 久保紫野